

2025年度（令和7年度）入学者選抜における「情報Ⅰ」の導入について

現在、情報通信技術は飛躍的な進展を遂げつつあり、それに伴って私たちの生活は大きく変化してきています。私たちは今後あらゆる活動において情報を適切に選択・活用していくことが不可欠といえます。それを踏まえて改訂された学習指導要領（平成30年3月告示）では、問題の発見・解決に向けて、いろいろな物事や現象を、情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を全ての生徒に育む「情報Ⅰ」が共通必修科目となりました。

本学では、その有用性・重要性を考慮し、2025年度（令和7年度）入学者選抜から、大学入学共通テストの利用科目として「情報Ⅰ」を導入することとします。国際学部と芸術学部では選択科目として利用します。特に、開学時から情報科学の分野で教育研究を進める情報科学部では大学入学共通テストの「情報Ⅰ」を必須とし、一般選抜後期日程の個別学力検査で「情報」を課すこととします。

情報科学部からのメッセージ

情報科学部では、2025年度（令和7年度）の入学者選抜から、一般選抜前期日程及び後期日程の大学入学共通テストの利用科目として「情報Ⅰ」を必須にするとともに、一般選抜後期日程の個別学力検査に「情報」を導入します。

広島市立大学は1994年に情報科学部を設立しました。恒久の平和を見つめ未来を照らすようにと設立した学部です。遠くを照らす灯台が荒波にさらわれぬしっかりした基礎を持つように、開学時から約30年かけてしっかりと皆さんに情報科学を教育する基礎を築いてきました。私たち情報科学部の教員は、皆さんを情報科学で未来を切り拓ける人に育てたいと思っています。

皆さんの高等学校での学びは大きな未来につながります。その学びの成果を入試で表現していただくと共に、なによりも『「情報」が好き』な皆さんにぜひ門を叩いて欲しいと思い、入試に「情報」の科目を設定することにしました。皆さんも考えているように、社会では「情報」人材が求められています。AIも電卓のように道具として活かす時代になります。皆さんの未来を照らす灯台のように、しっかりと基礎を築いてきた広島市立大学情報科学部で、皆さんの好きな情報科学を学びましょう。